

## たまにはパトナ

「パトナ」と聞いて分かる人、あなたはもしかして仏教に関心がありますか？実は、これインドのビハール州の州都の名前、そしてお釈迦さまが悟りを開いたのが、そのビハール州のブッダガヤというところなのです。

インド観光旅行で最もポピュラーなのはゴールデントライアングルと言って、デリー・アグラ・ジャイプルの3都市を巡るものです。デリーは日本からの飛行機が到着する空港。アグラにはタージマハルなどがありますし、ジャイプルは旧藩王の美しい宮殿シティマハルで有名です。この3都市にベナレスを加えた5日間～1週間のツアーをよく見かけます。ですからわざわざパトナまでやって来る人は、長期にインドに滞在するバックパッカーであったり、仏教に関心のある人ではないかと推測したのです。

さて、今回はそのパトナのお話です。まずは松山から。松山を出る日は関東の大雪のため飛行機のキャンセルが相次ぎました。ハラハラしながらかなり早く空港に到着。羽田着は予定時刻よりも30分遅れでしたが、リムジンバスにもスムーズに乗ることができました。一路成田へ！成田が近くなるとあたりは一面真っ白！夕刻到着し、ここで1泊。



翌日は快晴。定刻に飛行機はデリー目指して離陸しました。



デリーまでは10時間20分ほど。帰りは7時間弱のフライトです。直行便なので揺れさえなければ快適な空の旅ですよ。と言っている間に飛行機はデリー上空へ。タクシー代金もぼったくられることなく無事友人宅に着きました。

しかしそれからが大忙し！2個のスーツケースの中身を1個15kgにまとめ翌日はパトナへのフライトです。ようやく夜中過ぎに床に着き、翌朝はゆつたりと朝食。ここまでは順調。でもやはりここはインド！災いは突然やってきました。予約してあったタクシーが待てど暮らせど来ない、来ない！聞けばドライバーが勝手にキャンセルしてほかのところへ行ってしまったとのこと。「やっぱりな〜。」と思いつつ、別のタクシーを回してもらいましたが、1時間近くのタイムロスです。デリーの空港は利用客が多いので国内用でも2時間前には到着していなければならないのですが、到着したのは70分前。チェックインカウンターは長蛇の列。見ると日本人らしき女の子が少し手前にいます。声をかけると新潟から一人で来たとのこと。「よし、こうなれば！」列を無視して二人で一番前へ。事情を伝え手続きを素早く済ませることができました。次は保安検査です。インドの空港での保安検査は時間がかかります。ここでも居並ぶ人たちをかわしながら前へ。運よく日本人のグループがいたので事情を説明すると快く交替してくれました。保安検査場では直前のムスリムの女性団体はほかの人たちよりも時間がかかるようでした。すっぽりと体を覆う衣服のせいかもしれません。が、まあ荷物もひっかからず、ボディチェックもすんなり。ただし、新潟の彼女は荷物で引っかかったようです。でも待ってられないので先に搭乗口へ。実は私たち行く先は全く別なのです。旅慣れているようでしたの

うまく対処できたと信じています。かくしてようやく搭乗口に向かうことができましたが、搭乗口 45 ははるか向こう！走って、走って、走って。毎朝テニスコートを走り回っているので楽勝！ようやくたどり着きました。大げさではなく本当の話です♪

パトナへは 2 時間弱のフライトです。無事到着しベルトから荷物を受け取り空港の外へ出ましたが、誰も見知った顔がありません。しばらく待ってからタクシーの方に向かおうとしたその時、向こうから制服を着た人がやってきます。公用車のドライバーさんでした。友人は実は空港の中まで入って、すぐ横で私を探してしていたようですね。写真はパトナの空港です。



さて、パトナでは高等裁判所の官舎にお世話になりました。建物は 1812 年イギリス統治下の建造だそうですよ。敷地は 4 ヘクタール余り。写真は裏庭から臨んだ建物と表の花壇です。





庭は隅々まで手入れが行き届いています。この官舎では朝早くから 30 人近い人たちが働いています。ついでにパトナの工芸品もいくつかご覧ください。



マドバニペインティング



ティクリワーク

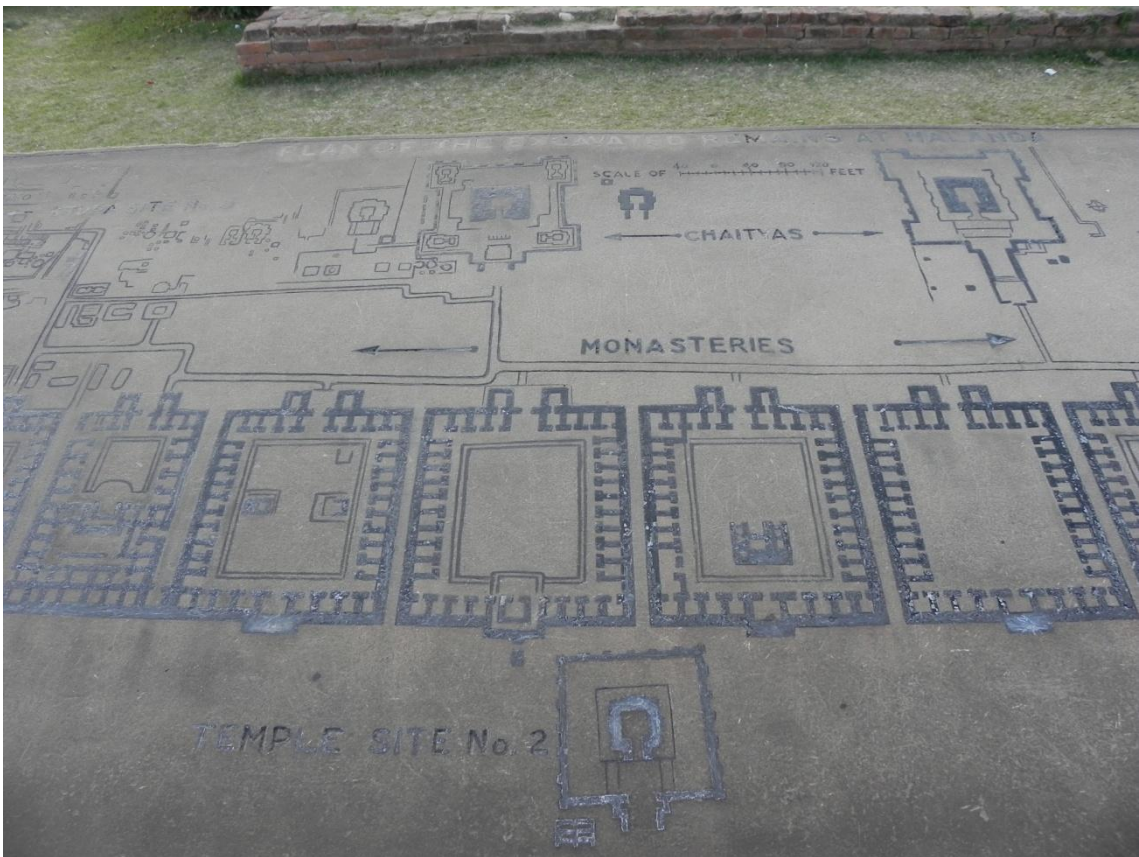




ほかにもいっぱいありましたが省略♪

物はさておき、次は観光です。特にお願いしたわけではありませんが、ある日車で2時間ほどかけてナーランダの遺跡まで連れて行ってくれました。途中ジャイナ教の美しい寺院を訪れたり、山頂に建てられた日本寺院までロープウェイで登ったり。ここではナーランダについて少々触れましょう。ナーランダには5世紀頃につくられた世界最大の仏教の学院(今日で言う大学)があったのだそうです。学生数1万人以上、教師も1,000人を数えたといわれています。9階建ての校舎の他、六つの寺院、七つの僧院があり、図書館には500万冊もの蔵書があったとのこと。古代の世界では最大の教育施設だったようです。大学は、12世紀イスラム教勢力のインド征服によって破壊され、同時にインドでの仏教の衰退が始まったそうです。





写真はそのナーランダ大学の遺跡の説明を受けているところです。以下はおまけの話♪

警護の人たちが多いのに気付いたでしょうか？友人と一緒に行動すると、前後を警察と軍の車に護られて移動するという経験が何度かあります。この日は高裁が付けてくれた秘書さんの計画に従って観光地をまわりました。ナーランダには午後5時を過ぎて到着したのですが、ゲートをあけて待っていてくれました。

ところでこれは何でしょうか？そう、どうやら「温泉」のようでした。ご利益があるのか多くの人たちが入浴していました。ちょっとプールのような感じ。ナーランダ近くの村での光景です。



さあ、次はデリーに戻ってからの出来事です。

デリーでは特に観光はしません。ですから有名な場所は皆さんの方がよくご存じかもしれませんね。デリーでここ数年お世話になっているのは40代のご夫婦と小さな女の子2人の家庭です。ときどきそのご両親のお宅にもお世話になることもあります。とにかくインドでは臨機応変。さて、小さなお姫様たちからお寿司のリクエストがありましたので、日本から持参したマヨネーズツナやかまぼこ、焼きサケを手巻き風にしました。お寿司以外にもチョコレートケー



キヤパンも一緒に作りました。学校から帰るとお絵かきやピアノのお稽古など。子どもたちの格好の遊び相手の方ですね、私は。

日曜日にはファーマーズマーケットへ。ここインドでも有機野菜や天然素材の石鹸などが大はやりです。かなり割高ですが、みなさん値段を気にすることなく買っていました。





これはお好み焼きではなく、ドーサと言う南インドの食べ物を作っているところです。パリパリしていてとっても美味しいよ！

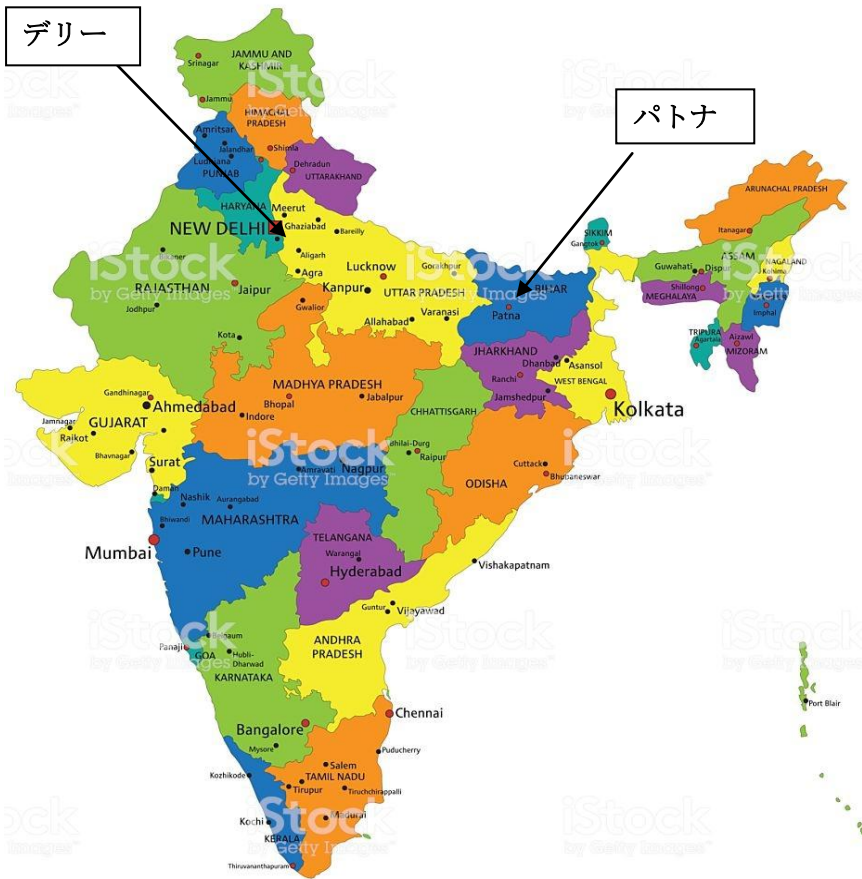


レンコンは細くって頼りない感じですが、インドでも食べられています。黄色いのはズッキーニ。

私は縁があってインドへよくでかけます。一般家庭に宿泊しますので、いろんな経験ができます。さて次は何でしょうか？映画のタイトルではありませんが、インドではいつでも「未知との遭遇♪」次回をお楽しみに。



おまけのおまけ  
 三着とも友人からのギフトで  
 す。



パトナはインドビハール州の州都です。2019年2月10日～20日、デリーとパトナに滞在しました。

愛媛大学総合健康センター  
 村上 和恵